

和歌山病院での実習を終えて



吉田 昭典

呼吸器内科のポリクリの一環として、国立病院機構和歌山病院にて実習をさせて頂きました。二日間といった短い期間でしたが、胸部 X 線画像読影術、結核病棟や結核の講義、そして人工呼吸器の体験など、非常に濃密な実習となりました。

特に、南方病院長による胸部 X 線画像読影の講義では、読影方法とその考え方について学ぶことができました。胸部 X 線画像読影に対して長らく苦手意識を持っていましたが、じっくりと向き合っただけで教えていただき、考えることで以前よりも理解が深まりました。そして、論理的に物事を捉えることの重要性を改めて感じました。

また、駿田副院長には、結核病棟の見学や、結核の感染経路、画像所見、治療法について講義をしていただきました。結核病棟はもっと重苦しい雰囲気かと思っていましたが、そのようなことは無く、実際に行って経験することの大切さも実感しました。そして、身体を動かして覚えた『ブロンコ体操』も印象に残りました。気合いで覚えてすぐに忘れていた肺分画も、すぐに覚えることができ、病変の位置を理解するのに大変役立つものとなりました。

最後になりましたが、和歌山病院でお世話になった先生、医局の方々、貴重な実習をさせていただき感謝申し上げます。本当にありがとうございました。